

ラムサール・フェスティバル 2009 参加報告

日時 平成 21 年 1 月 30 日 (金) ~ 31 日 (土)
場所 芙蓉閣 (宮城県大崎市古川駅前大通 6-2-8)

- ・『化女沼』ラムサール条約湿地登録記念
- ・「蕪栗沼・周辺水田」ラムサール条約湿地登録 3 周年記念
~ ラムサール・トライアングル
「化女沼、蕪栗沼・周辺水田、伊豆沼・内沼」に集う~

2005 年に『蕪栗沼・周辺水田』がラムサール条約湿地に登録されてから、3 年後に『化女沼』が登録された。大崎市の関係者もこの短期間での登録に驚いていた。

これには、1985 年に登録の『伊豆沼・内沼』や『蕪栗沼・周辺水田』の取組が高い評価を受けていることも影響したのではないかとのことだった。

あん・まくどなど (Ann McDonald) 国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長の基調講演では、昨年、韓国で開催されたラムサール湿地条約国際会議で、韓国と日本の水田決議を採択、アジアの声の世界に響き、世界を動かした画期的な出来事だったと述べた。

その後、栗原市長・登米市長・大崎市長による鼎談があり、20 km 内に 3 つのラムサール湿地条約登録地をもつ意味や、渡り鳥に選ばれた宮城県の財産【ラムサール・トライアングル】を、どのように日本、世界、地球に貢献できるかを考えていきたいと締めくくられた。



翌早朝、雨からみぞれ、みぞれから雪に変わる中、初めて「化女沼」からの鳥の飛びたちをみました。沼の間際での視察だったので、鳴きながら餌をもとめて頭上を飛び立つ雁やヒシクイ達は見事でした。寒さに凍えながら、カメラもぬれながらの撮影でしたので、壮大さをお伝えできないのが残念です。

